（毎月1・15日発行）

自衛隊応援まつり「防衛ホーム臨時アキバ派遣隊」（仮）

防衛ホーム新聞社は２月２０日から２８日までの９日間、東京秋葉原駅前にある「ボークス秋葉原　ホビー天国２」において、自衛隊応援まつり「防衛ホーム臨時アキバ派遣隊」（仮）を行なった。

これは、昨年から続く新型コロナウィルス禍の影響などにより、自衛隊イベントが一切中止になっていることから「自衛隊のできないことで自衛隊を応援する！」をモットーとしている弊社が「自衛隊イベントがないなら、自分達でやっちゃおう！」という気持ちから企画したもの。

常日頃から私たちの国の平和、国民の安心安全を守ってくれている「防衛省・自衛隊」の存在のPRを違う視点から行おうと、陸上幕僚監部・海上幕僚監部・航空幕僚監部の広報室を始め、地方協力本部や各部隊の協力を仰いだ。会場には、北は名寄駐屯地から南は沖縄地本まで、各種ポスターを展示し、パンフレット及びカタログを配布した。

「東京にいて、地方の部隊のパンフレットが手に入るなんて！嬉しい～」「陸・海・空のこんな立派なパンフレットもらって良いの？」「部隊ごとに色があるんだね、ポスターによく表れているよ」「娘がこの春から自衛隊に入るのよ。少し不安だったけど、ポスターやカタログを見て、暖かくて、何だか安心してきた」「入隊している息子になかなか会えないから、せめてパンフレットだけでももらおうと思って」「自衛隊も進路に考えているんだ」など、様々な方が訪れた。

初日で無くなってしまったパンフレットも多くお詫びをしながら話をするのも楽しく、「自衛隊のファンになったよ」と言われると、このイベントを開催して良かったと心から思えた。９日間の来場者数は物販ブースも含めて約5,000名。コロナ禍でなければ、もう少し事前宣伝をしたかった。第２回第３回と続けて実施したいと考えている。

前日には、クイズ番組の景品に「撃シリーズ」が使用されました。

東日本大震災発災直後から動いた
自衛隊員への著名人等によるメッセージ！

PRブース入り口では、陸自キャラクタータクマ君とユウちゃんがお出迎え

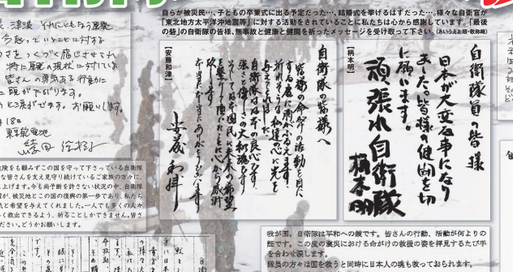
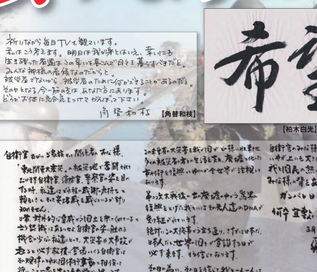
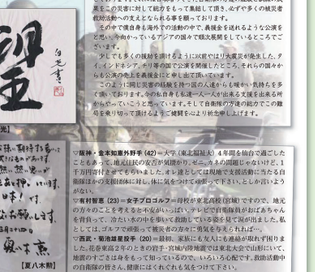
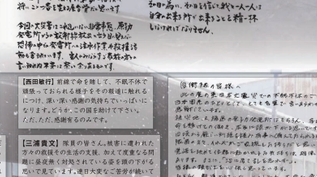
「ポスター頂戴！」と多くの方に言われましたが…ごめんなさい、次回も使いますので…

カタログやパンフレットも3ヶ所に分けて置かせて頂きました。

自衛隊応援まつり「防衛ホーム臨時アキバ派遣隊」（仮）会場で、多くの人の目を奪った、防衛ホーム

2011年4月1日号と５月１日号の紙面。じっくりと涙を拭いながら読む人が何名もおられた。

（毎月1・15日発行）

自衛隊の皆さん。頼みます!!

自らが被災民…、子どもの学業に出る予定だったか、結婚式を挙げるはずだったか、様々な自衛官が「東北地方太平洋沖地震等」に対する活動をされていることに私たちは心から感謝しています。「最後の砦」の自衛隊の皆様、無事故と健康を祈念するポスターなどが寄せられました。